

松下記念病院で慢性肝炎、肝硬変の治療を受けている患者様・ご家族の皆様へ
肝性脳症の治療の臨床的実態に対する研究についてのご協力をお願い

今回、松下記念病院消化器内科では、肝性脳症の治療を受けた患者の臨床背景・経過について検討する研究を実施します。そのため、以前に肝性脳症で肝性脳症治療薬を使用された方の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

肝硬変の合併症の治療は進歩しています。肝性脳症に対して2016年リファキシミン(リフキシマ)が使用できるようになりました。これらの薬は使用可能になってから日が浅く、実臨床でどれぐらいの効果があるかはまだ不明な点があります。今回、我々は当院と関連病院での症例を集積して、肝性脳症、こむら返りの治療について臨床経過について検討する研究を行うこととしました。

研究の方法

- ・対象について

松下記念病院および関連病院で肝性脳症に対してリフキシマによる治療をうけた患者様。

- ・方法について

過去の病歴や診療情報を収集して、効果や経過を統計学的に分析します。

- ・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、下記連絡先までご連絡ください。

本研究は、松下記念病院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。また、ご連絡いただけますと、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。

連絡先

松下記念病院 消化器内科

氏名 長尾 泰孝、世古口 悟

電話：06-6992-1231(代表)